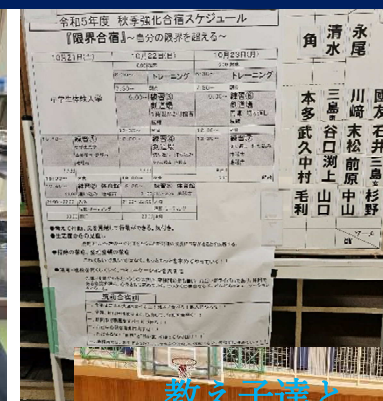




限界合宿

限界だああああ

10月21日(土)～10月23日(月)の3日間、初の校内合宿を実施した。テーマは『限界合宿』とにかく自分の限界を超えることが目標だった。2日目から武蔵台高校も加わりみっちり稽古。生徒は何回も限界に到達し、それを踏ん張って乗り越えた。本当に苦しい内容だったがよく頑張った。個人・チームとして、大きな成長に繋がり新人戦がどんな結果になるのか非常に楽しみだ。多くの方に協力して頂き合宿をすることができました。本当にありがとうございました。また食事も引退した3年生が協力してくれ、生徒たちは一生懸命食べていました。この合宿が必ず新人戦に繋がり、良い結果が出るよう、残り1ヵ月まだまだ頑張っていきます!!!



御飯は大盛り12杯以上!!
3日間の朝夕4食
炊いた合計 165合

筑前合宿名物
面紐・胴紐外れたら跳躍
発覚毎に50ずつ増えていく
最後は全員で跳躍500本!



第3弾!!

【剣道部OBより新人戦激励メッセージ】

【新人戦に向けて】 柴田 博充 剣道7段

経歴 筑前高校剣道部 7期生 主将

今宿小↓玄洋中↓筑前高校↓福岡工業大

現 パナソニック オートモーティブシステムズ(株)

営業部長 パナソニック剣道部

新人戦中部ブロック予選に向けて新体制での活動に熱が入っている事と思います。まずはご指導頂いている先生方、サポート頂いているご両親や関係の皆様へ感謝の気持ちをもって最高の成果が得られるよう部活動に励んでいただきたいと思います。

さて、私の新人戦中部ブロック予選の思い出についてご紹介させて頂きたいと思えます。当時の各種大会の中部ブロック予選では、ベスト4に入らなければ県大会進出とはならず、当時でも激戦地区と言われた中部ブロックであり、筑前は創部以来県大会出場の実績はありませんでした。そのような経緯もあり、ベスト4進出がまずもっての目標として新人戦に挑みました。際どい試合を重ねながらベスト8まで上り詰め、ベスト4をかけて福岡商業(現福翔)との対戦となりました。一進一退の試合が続いた結果代表戦となり、福岡商業の佐藤選手と筑前の私にて勝負となりました。小中時代からライバル関係であった佐藤選手(如水館)と私(今宿少年剣道部)の対戦には何かの縁を感じました。代表戦に送り出して頂く白水清道監督(初代顧問)からは「今日一日中やるつもりで行け」との言葉をかけて頂き、その言葉によって冷静に慌てず落ち着いて試合に臨むことができました。長い時間をかけた攻防が続き、最終的には鏝競り合いからお互いが放った引き面において、右に体を捌いて打った私の面で勝負が付き、この瞬間、筑前史上初の県大会出場決定となったのです。

この相引き面はいまだにスローモーションのような映像として鮮明に思い出されます。この新人戦での好スタートもあり、我々7期生は各種大会の中部ブロック予選ではほぼベスト4に入る事ができ県大会に出場。県大会においても、団体・個人ともに県3位に入賞するなどの実績を残す事ができました。



振り返って
みますと、
先生や支え
て頂いた関
係の皆さま
のご支援が
あったから
ではありま
すが、7期



文武両道で最高の成果を得られるよう心より祈念申し上げ、OBからのメッセージとさせていただきます。
筑前剣道部、頑張ってください!